



神さまは アダムに話されました。「アダム、おまえは塵にあるものは、何でも食べていいんだよ。でも、善と悪を教えてくれる知識の木からだけは、食べてはいけない。もしおまえがその木のものを食べると、必ず死んでしまうんだよ。」

19



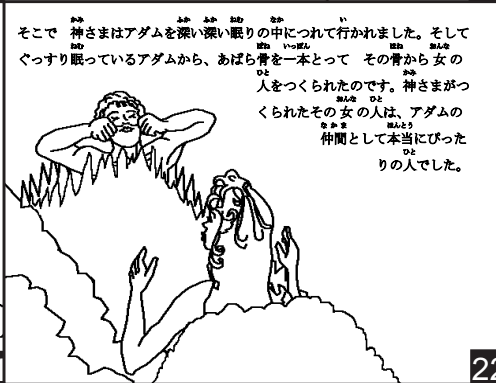
そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人であるのは、よくない。さびしいだろう。私は彼に仲間をつれてこよう。」神さまは、アダムのところに、小鳥たちや動物たちを呼びました。

20



アダムは、かれらみんなに、それぞれの名前をつけてあげました。そんなことができるなんて、アダムはきっと 賢かったのでしょうね。けれど、これら鳥たちや動物たちの中には、アダムにぴったりの仲間はみつかりません。

21



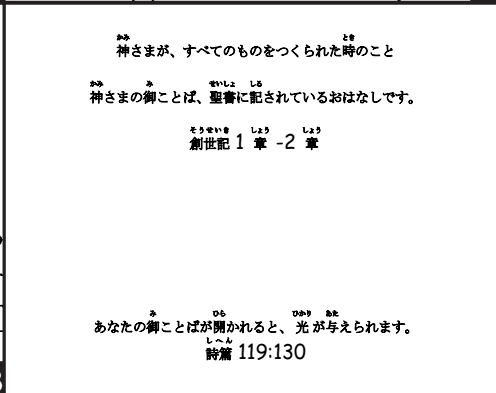
そこで 神さまはアダムを深い眠りの中につれて行かれました。そしてぐっすり眠っているアダムから、あばら骨を一本とって その骨から女の人をつくられたのです。神さまがつくられたその女の人、アダムの仲間として本当にぴったりの人でした。

22



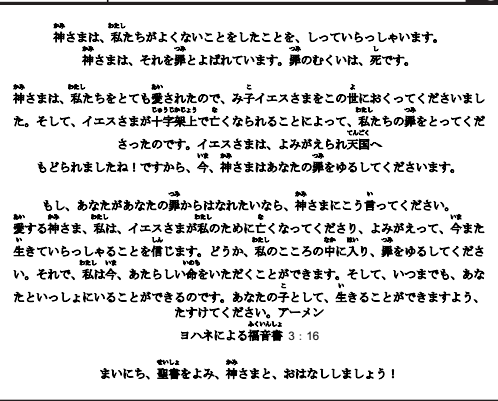
神さまは、六日間ですべてのものをつくられました。それから神さまは七日目を祝 福なさせて、その日を休みの日とされました。エデンの園では、アダムと彼の妻のエバは 神さまに従いながら、ほんとうに幸せに暮らしました。神さまは、二人にとって主であり、養ってくださる父であり、そして友達でもあったのです。

23

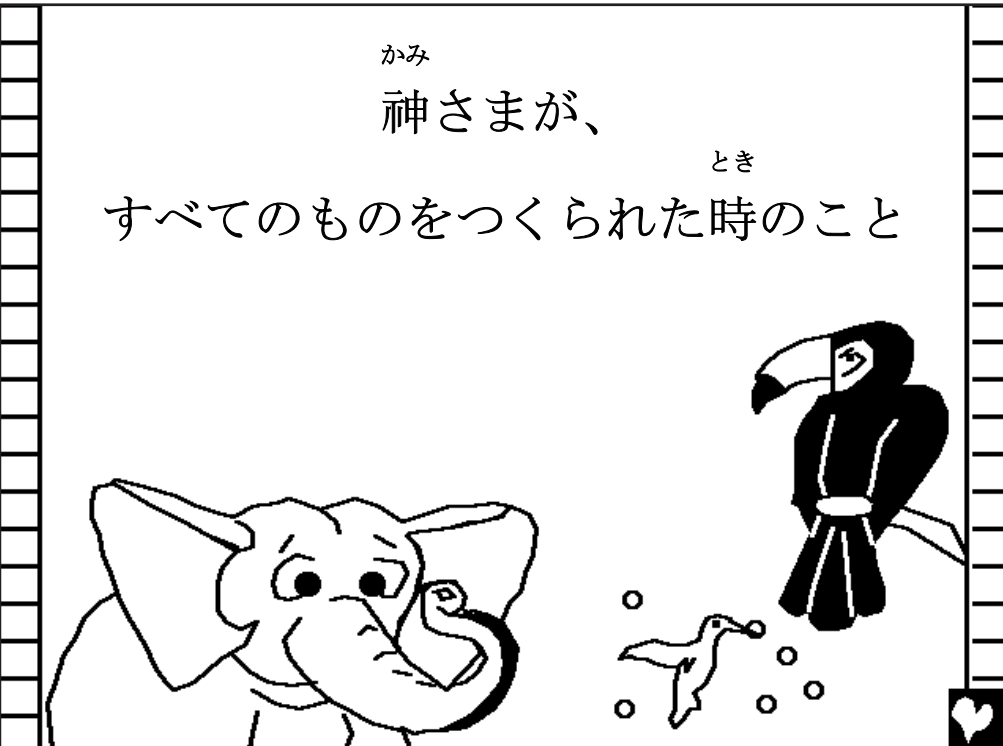


神さまが、すべてのものをつくられた時のこと  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。  
創世記 1 章 - 2 章

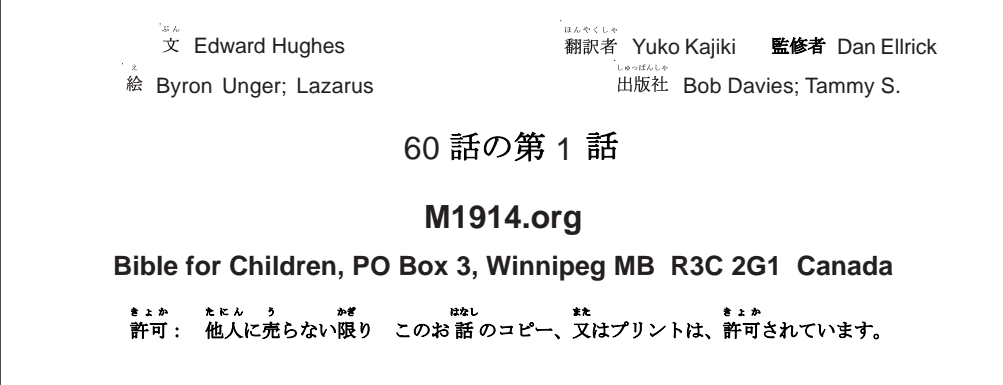
あなたの御ことばが聞かれると、光が与えられます。  
詩篇 119:130



日本語 Japanese  
神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。  
神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架上で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださいましたのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてください。  
もし、あなたがあなたの罪からはなれないなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のところの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいらることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン  
ヨハネによる福音書 3:16  
まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！



かみ  
神さまが、  
とき  
すべてのものをつくられた時のこと



文 Edward Hughes 翻訳者 Yuko Kajiki 監修者 Dan Ellrick  
絵 Byron Unger; Lazarus 出版社 Bob Davies; Tammy S.

60 話の第 1 話

M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada

許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



1  
いったいだれが、私たちをつくったのだろう。聖書、つまり神さまのことばは、私たち人類が、どのようにして 始まったかを教えてくれています。ずっとずっと昔のことです。



2  
神さまは、いちばん初めの人をつくり、アダムと名前をつけられました。神さまは、アダムを地の塵からつくられたのです。



それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、生かしてくださいました。アダムは、自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に置かれていることに気がつきました。

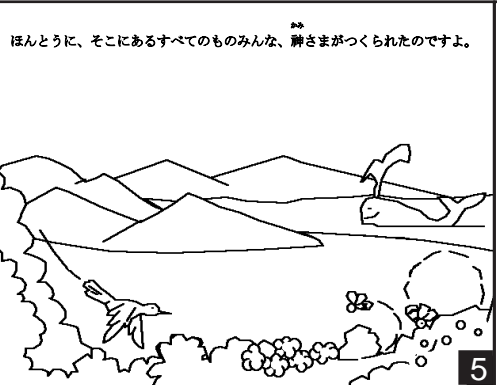
3



神さまが、アダムをつくられる前のことです。神さまは、すばらしいものでいっぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのです。神さまは、少しずつ、少しずつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやポンポン飛び回るみっばらさん。

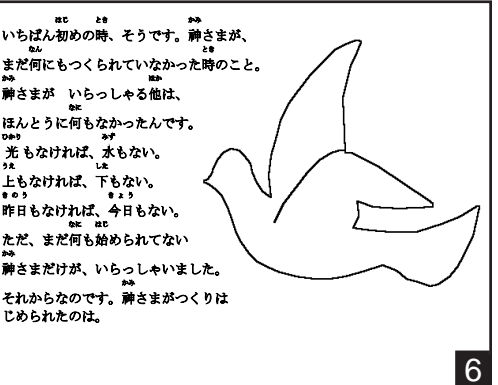
元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルは  
いまわるへびさんたち。

4



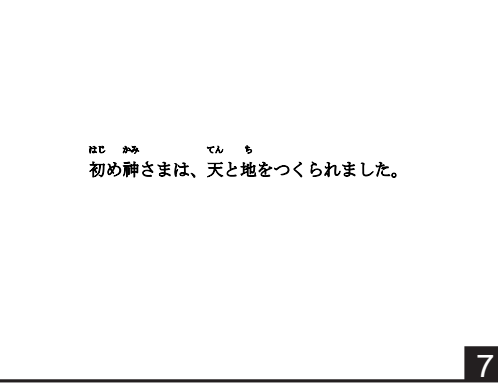
ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、神さまがつくられたのですよ。

5



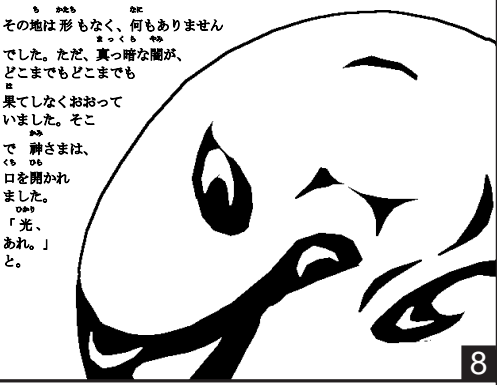
いちばん初めの時、そうです。神さまが、まだ何にもつくりださなかった時のこと。神さまが いらっしゃる他は、ほんとうに何もなかったんです。光もなければ、水もない。上もなければ、下もない。昨日もなければ、今日もない。ただ、まだ何も始められてない。神さまだけが、いらっしゃいました。それからなのです。神さまがつくりはじめられたのは。

6



初め神さまは、天と地をつくられました。

7



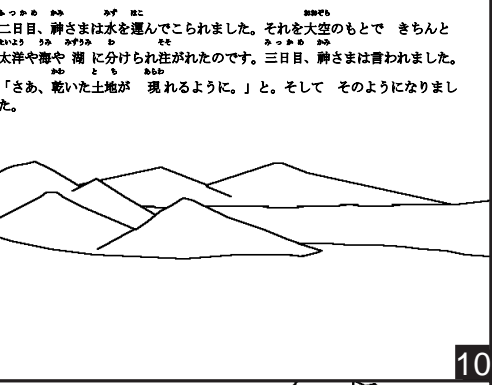
その地は形もなく、何もありませんでした。ただ、真っ暗な闇が、どこまでもどこまでも果てしなくおおっていました。そこで 神さまは、口を開かれました。「光、あれ。」と。

8



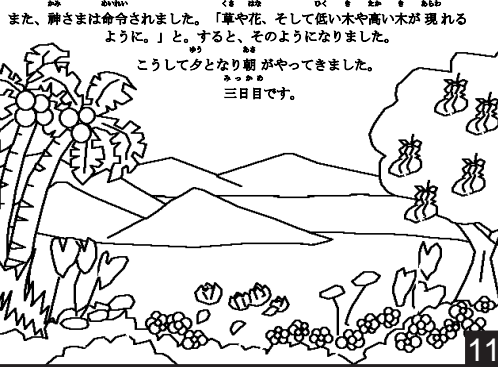
すると、なんとまあ 光が出てきたのです。神さまは、光を基、闇を夜と名づけられました。こうして夕となり 朝がやってきました。第一日目です。

9



二日目、神さまは水を選んでこられました。それを大空のもとで きちんと 大津や海や 淵 に分けられ注がれたのです。三日目、神さまは言われました。「さあ、乾いた土地が 現れるように。」と。そして そのようになりました。

10



また、神さまは命令されました。「草や花、そして低い木や高い木が 現れるように。」と。すると、そのようになりました。こうして夕となり 朝がやってきました。三日目です。

11



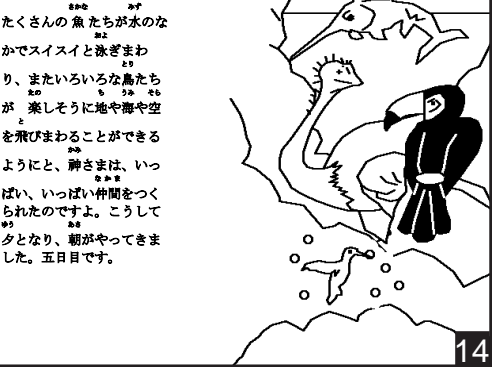
それから 神さまは、太陽、月、数えきれないほどのくさんの星をつくられました。こうして夕となり 朝がやってきました。四日目です。

12



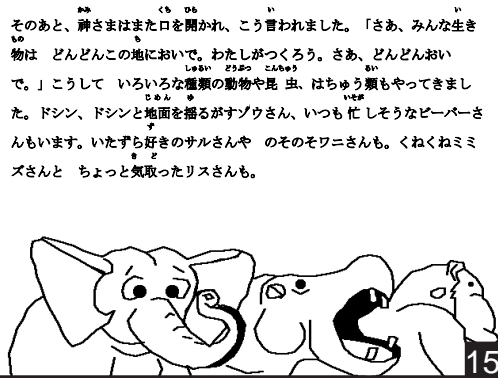
神さまが次に考えられていたことは、海の生き物や魚や鳥たちをつくることでした。五日目、大きなメカジキやちっちゃいワシのなかまたち、脚の長いダチョウさんやいつも 幸せそうにさえずっているかわいいわハドリたちもつくられました。

13



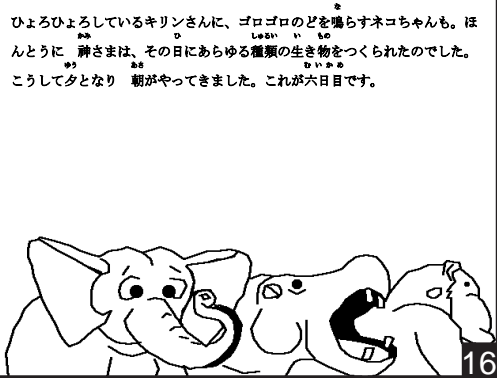
たくさん魚たちが水のなかでスイスイと泳ぎまわり、またいろいろな鳥たちが 楽しそうに地や海や空を飛びまわることができるようにと、神さまは、いっぱい 仲間をつくられたのですよ。こうして夕となり、朝がやってきました。五日目です。

14



そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、みんな生き物は どんどんこの地においで。わたしがつくる。さあ、どんどんおいで。」こうして いろいろな種類の動物や昆 虫、はちゆう類もやってきました。ドシン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、いつも忙しそうなビーバーさんもいます。いたずら好きのサルさんや そのソワニさんも。くねくねミズさんと ちょっと気取ったリスさんも。

15



ひよろひよろしているキリンさんに、ゴロゴロのどを鳴らすネコちゃんも。ほんとうに 神さまは、その日にあらゆる種類の生き物をつくられたのです。こうして夕となり 朝がやってきました。これが六日目です。

16



さて、六日目のことです。神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、何か特別のこと…。今はもう、人をつくるための準備が、すっかりできあがっていました。野には、食べ物が、そして彼に仕える動物たちもいました。そこで、神さまは、言われました。

17



「さあ、私たちによく似た人をつくらう。そして地のものすべてを 彼に従わせよう。」神さまは、神ご自身に似せて人をつくられたのです。神さまそっくりにつくられたのです。

18